

日本女子大学 国語国文学会

秋季大会

2018年12月1日(土)

【第一部】 10:00~14:40 (受付 9:00~) 9:30 より別の会を行っております。

研究発表会

A 会場:百年館 603 B 会場:百年館 301 C 会場:百年館 503

【第二部】 15:30~17:05(受付 15:00~) 八十年館 851 教室

講演会 **『源氏物語』とアクティブ・ラーニング時代**

河添 房江 氏

【茶話会】 講演会終了後、七十年館食堂にて(17:30~) 会費 1000 円

入場無料

【河添房江氏】

1953 年生まれ。東京大学文学部卒。同大学院人文科学研究科修了。博士(文学)。現在、東京学芸大学教育学部教授。東京大学大学院人文社会系研究科兼任教授。一橋大学大学院言語社会研究科連携教授。専門は中古文学。著書に『源氏物語表現史』(翰林書房、1998 年)、『源氏物語時空論』(東京大学出版会、2005 年)、『源氏物語と東アジア世界』(NHK ブックス、2007 年)、『唐物の文化史 舶来品からみた日本』(岩波新書、2014 年) などがある。近年は『アクティブ・ラーニング時代の古典教育 小・中・高・大の授業づくり』(東京学芸大学出版会、2018 年)を出版し、古典学習におけるアクティブ・ラーニングや ICT 機器活用に取り組んでいる

【アクセス】

- ◇JR 山手線目白駅から徒歩 15 分
または「日本女子大学」行きスクールバス
- ◇東京外口副都心線 雑司が谷駅より徒歩 10 分
- ◇東京外口有楽町線 護国寺駅より徒歩 10 分
- ◇都営荒川線 鬼子母神駅より徒歩 10 分

研究発表会の詳細は日本文学科
Facebook をご覧ください。

ご来場を心よりお待ちしております

2018 年度 日本女子大学 国語国文学会

《秋季大会 第一部 研究発表会 発表題目一覧》

A 会場（百 603） 10:00～12:15

分野	発表者	論題
上代	M1 都築里花子	藤原定家の『萬葉集』長歌受容
中古	M1 泉彩花	平貞文と「平中」一色好みの観点から一
中古	M1 遠藤美奈	『源氏物語』結婚拒否から成立する男女の関係
中古	M1 奥村光	末摘花論 一髪描写の視点から一
中世	M1 赤松里佳	『恋路ゆかしき大将』における雛屋の機能

C 会場（百 503） 11:00～12:15

近代	D3 濱田美枝子	歌人後藤美代子の挽歌における〈風〉
近代	D3 李娜娜	武田泰淳の『上海の蛍』論
日本語教育	M2 白鳥藍	文法能力と聴解能力の関係性

B 会場（百 301） 13:00～14:40

中世	M1 星川益佐季	「天稚彦草子絵巻」下巻の構図
近代	M1 上杉沙紀	田村俊子『炮烙の刑』論
日本語教育	M1 周浩	日・中両言語会話における重なりをめぐって
日本語学	M1 新留香織	外来語のカタカナ表記について

* Mは大学院博士課程前期、Dは大学院博士課程後期



※スペースの関係上、副題は一部省略しております。ご了承下さい。